

2018年度一般社団法人日本消化器がん検診学会事業報告書
(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

1. 定款第5条1号(消化器がん検診に関する学術集会、学術講演会、研究会等の開催)

◎総会

第57回総会(新潟市) (テーマ:原点回帰～正しい検診を正しく行う～)

会長:成澤林太郎(新潟県立がんセンター新潟病院内科)

会期:2018年6月8日(金)～9日(土)

会場:新潟県民会館他 参加:946名

演題総数:主題24題 一般演題28題

内容:

会長講演(1)「胃内視鏡検診の現状と未来」

理事長講演(1)「これからの消化器がん検診」

特別講演(1)「切除標本のマクロでここまで読める」

教育講演(1)「正しいがん検診を正しく行う」

倫理に関する講演(1)「今、臨床研究に何が求められる如何実施しなければならないのか」

シンポジウム(2)「過去から近未来の胃がん検診-効率的でもっと精度の高い検診への取り組み-」

「精密検査法として大腸CTを全大腸内視鏡と同等に扱うことは可能か」

ワークショップ(1)「ここが変だよ 検診マニュアル-現場の意見より-」

一般演題1～7(胃、大腸、肝胆膵その他)

超音波フォーラム(1)、放射線フォーラム(1)、附置研究会(4)、ランチョンセミナー(4)

◎大会

第56回大会(神戸市)(JDDW 5学会合同) (テーマ:世界をリードできる消化器がん検診を目指して)

会長:齋藤洋子(茨城県メディカルセンター・消化器・内視鏡センター)

会期:2018年11月1日(木)(JDDW会期:1日～4日)

会場:神戸コンベンションセンター

備考:参加学会

日本消化器病学会 会長:木下芳一

日本消化器内視鏡学会 会長:乾 和郎

日本肝臓学会 会長:榎本信幸

日本消化器外科学会 会長:山本雅一

参加:22,218名

演題総数:主題16題 一般演題40題

内容:

会長講演(1)「茨城県の消化器がん検診から胃がん・大腸がん検診のこれからのを考える」

招待講演(2)「Korean experience of national stomach cancer screening by endoscopy-progress and outcomes.」

「Colorectal cancer screening - Achievements, challenges and opportunities」

特別講演(1)「『臨床倫理』へのいざない-検査・治療方針決定における『自己決定』と『家族による代理判断』の倫理的意義のちがいを」

JDDW教育講演(8)、JDDW医療セミナー(4)「専門医制度におけるサブスペシャリティの現状と展望」

JDDW日本消化器病女性医師・研究者の会(6)「JDDW輝く女性のためのキャリア支援」

JDDW統合プログラム(6)、メディカルスタッフプログラム(2)

パネルディスカッション(1)(主導)「公共の施策としての胃がん検診のあり方-現状と将来像を巡って-」

ワークショップ(1)(主導)「大腸がん検診における内視鏡と大腸CTの役割」

一般演題(デジタルポスター)(胃・食道・膵臓・大腸、他)、インターナショナルポスターセッション(26)

ブレックファースト(3)、ランチョン(1)、サテライトシンポジウム(3)

◎地方会（各7支部、年1回開催）

・第48回北海道地方会

会長：平山眞章（斗南病院消化器内科）

会期：2018年7月14日（土）（午後半日）

会場：札幌医科大学講堂

内容：特別講演（1）「ビッグデータからのエビデンス発信～医療イノベーションの実現を目指して」

教育講演（1）「大腸がん検診の現状と課題～日本の大腸がん死亡を減らすために私たちがなすべきこと～」

一般演題 18題

参加者：207名

・第56回東北地方会（テーマ：東北の消化器がん検診の現状と今後—地域の実情に応じた消化器がん検診のあり方とは—）

会長：加藤勝章（宮城県対がん協会がん検診センター）

会期：2018年7月6日（金）～7日（土）

会場：良陵会館

内容：特別講演（1）「対策型としての胃内視鏡検診の実施体制と精度管理の構築に向けて」

教育講演（4）「これからの胃がん検診はどうあるべきか」、「新カテゴリーの考え方と技師による読影補助」、「医師以外のメディカルスタッフも知っておくべきピロリ菌感染胃炎の知識～感染診断や除菌治療もふくめて～」、「腹部エコーでみつける消化管疾患」

パネルディスカッション（1）「東北の胃内視鏡検診の現状と将来」

ライブデモ、症例検討会

一般演題 10題

参加者：300名

・第78回関東甲信越地方会（テーマ：消化器がん検診の裾野を広げる）

会長：小林 望（栃木県立がんセンター消化器内科）

会期：2018年9月2日（日）

会場：栃木県総合文化センター

内容：エキスパートレクチャー（2）「胃X線検査の背景粘膜診断」、「胃内視鏡検診の現状と今後の展望」

トピックレクチャー（1）「日本における大腸がん検診の課題と将来展望」

教育講演（1）「ステップアップ腹部超音波スクリーニング “ココちゃんと見てますか？”」

シンポジウム（1）「消化器がんの裾野を広げるためには？」

ワークショップ（1）「胃X線検査の裾野を広げる教育体制」

一般演題 16題、超音波ライブデモ

参加者：390名

・第48回東海北陸地方会（テーマ：消化器がん検診の未来へ向けて—これからの消化器がん検診に求められること—）

会長：小島孝雄（朝日大学歯学部附属村上記念病院）

会期：2018年12月1日（土）

会場：じゅうろくプラザ

内容：特別講演（1）「病因論に基づいた肝癌対策としての肝炎ウイルス対策の現状と課題」、「膝疾患検診としての超音波検査とその最新動向」

教育講演（2）「大腸がんの予防と現状と未来」、「脂肪肝：発癌リスクと診断アルゴリズム 2020」

シンポジウム（1）「これからの胃がん検診」

一般演題 10題

参加者：400名

・第47回近畿地方会（テーマ：適切な消化器がん検診をより多くの人に）

会長：水田和彦（滋賀県健康づくり財団健診センター）

会期：2018年8月4日（土）～5日（日）

会場：ピアザ淡海

内容：特別講演（1）「がん対策における消化器がん検診の方向性」

教育講演（1）「消化器がん発見のための腹部超音波」

シンポジウム (2) 「近畿地方における胃がん内視鏡検診の課題と解決策」、「適切な消化器がん検診をより多くの人に受けてもらうには」、基調講演

一般演題 5 題

参加者：309 名

・第 48 回中国四国地方会 (テーマ：消化器がん検診の未来を見据えて—高精度で最適な検診の追求を—)

会長：謝花典子 (山陰労災病院消化器内科)

会期：2018 年 12 月 8 日 (土)～9 日 (日)

会場：鳥取県健康会館

内容：会長講演 (1) 「鳥取県、米子市の胃がん検診の現状とこれからの課題」

特別講演 (2) 「内視鏡検診のその後」、「胃がん X 線検診における読影判定区分の勘所」

特別企画 (1) 「対策型検診の基本理念：Q&A コーナー (対策型胃内視鏡検診について)」

教育講演 (1) 「スクリーニング US と Point of care US」

シンポジウム (1) 「消化器がん検診体制における諸問題と今後の展望」

胃症例検討会

一般演題 23 題

参加者：291 名

・第 48 回九州地方会 (テーマ：進化する消化器がん検診)

会長：平川克哉 (福岡赤十字病院消化器科)

会期：2018 年 9 月 15 日 (土)

会場：九州大学医学部百年講堂

内容：会長講演 (1) 「対策型胃がん内視鏡検診の現状と課題」

教育講演 (2) 「胃がん検診を再考する」、「大腸の腫瘍性 (様) 病変の画像診断—腺腫・腺癌以外の内視鏡診を中心に」

シンポジウム (1) 「胃 X 線読影における技師の 1 次所見チェックの現状～読影補助の現状～」

胃 X 線症例検討会

一般演題 25 題

参加者：293 名

◎第 33 回医師認定研修会 (総会時に開催)

日時：2018 年 6 月 9 日 (土) (新潟市)

参加：81 名

内容：「総論」、「胃・大腸・肝胆膵」

◎支部主催医師研修会

北海道支部 日時：2018 年 7 月 14 日 (土) (札幌市)

参加：28 名

東北支部 日時：2018 年 7 月 7 日 (土) (仙台市)

参加：69 名

関東甲信越支部 日時：2018 年 9 月 2 日 (日) (宇都宮市)

参加：14 名

東海北陸支部 日時：2018 年 12 月 1 日 (土) (岐阜市)

参加：15 名

近畿支部 日時：2018 年 8 月 4 日 (土) (大津市)

参加：116 名

中国四国支部 日時：2018 年 12 月 8 日 (土) (鳥取市)

参加：167 名

九州支部 日時：2018 年 9 月 15 日 (土) (福岡市)

参加：63 名

◎第7回胃X線読影講習会（総会時に開催）

日時：2018年6月9日（土）（新潟市）

参加：71名

内容：「ピロリ菌感染を考慮した背景胃粘膜診断」、「胃癌のX線診断」

◎第3回胃がん検診専門技師研修会

日時：2018年10月6日（土）（東京都：日経ホール）

参加：274名

内容：「見逃し（偽陰性）をなくすために」、「胃X線検診のための読影判定区分」、「最新の胃X線デジタル透視撮影システムのご紹介」、「胃がん検診専門技師に必要なX線・内視鏡画像の対比」、「除菌時代の胃X線・病理対比」、「アンサーパッドを用いた粘膜判定・カテゴリー判定のトレーニング」

◎各支部主催の検診従事者研修会（放射線・超音波・保健師）

7支部にてそれぞれ各種研修会を開催した。（下記参照）

7支部の各種事業報告事業年度：2018年4月1日～2019年3月31日迄

事業別	項目/支部	北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州
地方会	回数	第48回	第58回	第78回	第48回	第47回	第49回	第48回
	会長	平山真章	加藤勝章	小林 望	小島孝雄	水田和彦	謝花典子	平川克哉
	会長所属先	斗南病院消化器内科	宮城県対がん協会 がん検診センター	栃木県立がんセンター	朝日大学保健医療学部・ 朝日大学病院消化器内科	法賀県健康づくり財団健診センター	山陰労災病院	福岡赤十字病院消化器科
	会期	2018年7月14日	2018/7/6~7	2018年9月2日	2018年12月1日	2018/8/4~5	2018/12/8~9	2018年9月15日
	会場	札幌医科大学臨床講堂	良陵会館	栃木県総合文化センター	じゅうろくプラザ	ピアザ淡海	鳥取県健康会館	九州大学医学部百年講堂
	参加費	医師3,000円、他1,000円	医師2,000円、医師以外1,000円	3,000円	医師3,000円、その他2,000円	医師5,000円、医師以外2,000円	3,000円	5,000円
	参加者数	207名	300名	390名	400名	309名	291名	293名
	主なプログラム	特別講演「ピロリ菌除去からのエビデンス発信～医療イノベーションの実現を目指して」、教育講演「大腸がん検診の現状と課題」、一般演題	特別講演「対胃型としての胃内視鏡検査の実施体制と精度管理の精度に向けて」、パネルディスカッション「東北の内視鏡検査の現状と将来」、スポンサーセミナー「CT colonographyの現状と今後―検診とのかかわりを含めて―」、一般演題、症例検討会、各種研修委員会研修会、ライブデモ	教育講演「胃X線関連」、「内視鏡研修委員会講習会」、「大腸がん検診」、「腹部超音波」、シンポジウム「消化器内視鏡検査の裾野を広げるためには」、ワークショップ「胃X線関連」、胃症例検討会、一般演題、超音波ライブデモ	委員講演、特別講演「がん予防のための肝実X線検診対策」、教育講演「大腸がん予防の現状と未来」、シンポジウム「これからの胃がん検診」、基調講演「胃内視鏡検査を巡る新たな展開」他、一般演題、ランチョン	シンポジウム「適量地方における胃内視鏡検査の課題と解決策」、「適切な消化器がん検診をより多くの人に」、一般演題、ランチョンセミナー、公開講座「消化器がんを予防する、早く見つけて治す」	特別講演「内視鏡検診とその後」、「胃がん検診における読影判定区分の勘所」、教育講演「スクリーニングUSとPoint of care US」、シンポジウム「消化器がん検診体制における諸問題と今後の展望」、一般演題、症例検討会、ランチョン	教育講演「胃がん検診を再考する」、「大腸癌罹患率(株)病変の画像診断」、一般演題、シンポジウム「胃X線読影における技師の1次所見チェックの現状」、ランチョンセミナー「拡大内視鏡が変えたClinical practice」
	医師研修会	医師研修会(地方会に併催)	医師研修会(地方会に併催)	医師研修会(地方会に併催)	医師研修会(地方会に併催)	医師研修会(地方会に併催)	平成30年医師研修会(地方会併催)	医師研修会(地方会併催)
	日時	2018年7月14日	2018年7月7日	2018年9月2日	2018年12月1日	2018年8月4日	12月8日(13~17)	2018年9月15日
会場	札幌医科大学臨床講堂	良陵会館	栃木県総合文化センター	じゅうろくプラザ	ピアザ淡海	鳥取県健康会館	九州大学医学部百年講堂	
参加費	無	無	2,000円	無	医師5,000円、医師以外2,000円	無	無	
参加者数	28名	69名	14名	15名	116名	167名	63名	
主なプログラム	特別講演及び教育講演(地方会プログラムと同じ)	特別講演、パネルディスカッション、スポンサーセミナー(地方会プログラムの一部)	教育講演「胃X線関連」、「内視鏡研修委員会講習会」、「大腸がん検診」、「腹部超音波」、超音波ライブデモ、胃症例検討会、ランチョン(地方会プログラムの一部)	シンポジウム「これからの胃がん検診」、基調講演「胃内視鏡検査を巡る新たな展開」、「検診対象者集約への戦略」胃がん検診の現状と未来(地方会プログラムの一部)	教育講演「大腸がん検診の現状と課題、将来展望」、「胃X線検診における読影判定区分についての解説」、「対型型検診のための胃内視鏡検査マニュアルに基づく内視鏡検査の実践-安全管理と精度管理の要点-	特別講演「内視鏡検診とその後」、シンポジウム「消化器がん検診体制における諸問題と今後の展望」	教育講演「胃がん検診を再考する」、「大腸癌罹患率(株)病変の画像診断」	
放射線研修会	研修会名	北海道支部 第44回放射線研修委員会研修会	第21回放射線研修委員会研修会(地方会併催)	第33回消化管X線画像セミナー	平成30年度放射線研修委員会 中級者セミナー	第41回近畿支部放射線研修会(地方会併催)	平成30年 第1回放射線技術研修会	放射線セミナー(地方会併催)
	日時	2019年3月9日	2018年7月6日	2018/5月	2018年6月30日	2018年8月4日	2018年6月5日	2018年9月15日
	会場	札幌市社会福祉総合センター	良陵会館	関東甲信越各県	ウインク愛知	ピアザ淡海	広島大学広仁会館	九州大学医学部百年講堂
	参加費	1,000円	無	有料	2,000円	医師5,000円、医師以外2,000円	無	無
	参加者数	162名	156名	50名	74名	医師研修会を含む	62名	230名
	主なプログラム	特別講演、会員研究発表、ワークショップ「胃X線検診のための読影判定区分(7リ分類)の普及を目指して」	教育講演「新カテゴリーの考え方と技師による読影補助」、症例検討会「アンサーパッドを用いたカテゴリー選択」	実施せず	4講義「撮影が困難な受診者に対する対応」、撮影指導	医師研修会と同じ内容	特別講演「背景粘膜を考慮したカテゴリー分類」透視観察でのチェックポイント、症例検討会	医師研修会と同じ内容
	研修会名	第14回北海道胃がん検診 専門技師研修会	平成30年度 放射線研修委員会研修会	第78回関東甲信越地方会 放射線フォーラム(地方会併催)	平成30年度消化管撮影技術 向上セミナー	第42回近畿支部放射線研修会	平成30年第2回放射線技師 研修会(地方会併催)	
	日時	2019年3月10日	2019年1月26日	2018年9月2日	2018年8月5日	2019年2月23日	2018年12月9日	
	会場	札幌厚生病院新棟大会議室	コラッセふくしま	栃木県総合文化センター	JCHO四日市市羽津医療センター	千里ライフサイエンスセンター	鳥取県健康会館	
	参加費	1,000円	500円	地方会に含まれる	会員2,000円、非会員5,000円	3,000円	無	
参加者数	87名	93名	地方会に含まれる	111名	218名	106名		
主なプログラム	認定技師向けプログラム(基調講演「胃X線検診におけるカテゴリー分類について」、実際に見てみようカテゴリー一例、症例検討会など)	教育講演「胃癌に関する」、症例検討会	撮影技術ディスカッション、読影講義、症例検討	講演「胃X線検診の課題とこれからの」、「胃X線画像病理対比 胃型・分化度混在・表層大腸型胃癌を拾い上げるために」、「CTC-前処置から有用症例まで」、「消化管検査技術における標準化の光と影」、症例検討会	教育講演「がん検診での事前説明」、「背景胃粘膜診断参加型学習」、ランチョンセミナー「装置の進歩により変化する画像について」、「後位変換の違いによるバリウムの流れ方について」	特別講演「内視鏡検診とその後」、「胃がん検診における読影判定区分の勘所」、症例検討会		
研修会名			第34回消化管X線画像セミナー	第27回放射線研修会(地方会併催)				
日時			2018/12月	2018年12月1日				
会場			関東甲信越各県	じゅうろくプラザ				
参加費			有料	2,000円				
参加者数			50名	240名				
主なプログラム			実施せず	一般演題、特別講演、基調講演、シンポジウム				
研修会名			第50回放射線研修委員会 学術大会					
日時			2019年2月23日					
会場			日経ホール					
参加費			3,000円					
参加者数			228名					
主なプログラム			シンポジウム、教育講演、エキスパートセミナー					
研修会名			第35回消化管X線画像セミナー					
日時			2019/3月					
会場			関東甲信越各県					
参加費			有料					
参加者数			50名					
主なプログラム			実施せず					

事業別	項目/支部	北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州
超音波研修会	研修会名	北海道支部第16回超音波研修会	第16回超音波研修委員会研修会(地方会併催)	第20回超音波セミナー	第15回超音波研修会(地方会に併催)	第34回超音波研修会(地方会に併催)	平成30年度超音波研修会(地方会に併催)	
	日時	2018年4月7日	2018年7月7日	2018年4月21日	2018年12月1日	2018年8月4日	2018年12月8日	
	会場	札幌医科大学臨床研究棟臨床大講堂	良陵会館	東医健保会館大ホール	じゅうろくプラザ	ピアザ淡海	鳥取県健康会館	
	参加費	2,000円	無	会員2,000円、非会員3,000円	2,000円	医師5,000円、医師以外2,000円	無	
	参加者数	335名	54名	160名+6名(招待)	78名	58名	167名	
	主なプログラム	特別企画「技師が観て、医師が診る」、症例検討会、特別講演「超音波検査を担当する技師に期待すること」	教育講演「腹部エコーでみつける消化管疾患」、ライブデモ	教育講演「学会で聞いて困らない造影超音波、基礎の基礎」、「学会で聞いて困らないCT/MRI検査、基礎の基礎」、症例検討会	特別講演「肺炎患検診としての超音波検査とその最新動向」、教育講演「脂肪肝」「発癌リスクと診断アルゴリズム2020」	カテコリーから学ぶ症例検討、教育講演「楽しく学ぼう、胆膵エコー」	教育講演「スクリーニングUSとPoint of care US」	
	研修会名		第11回超音波福島セミナー	第1回中級者超音波実技講習会		第35回超音波研修会		
	日時		2018年10月13日	2018/7/7-8		2018年10月6日		
	会場		コラッセふくしま	日本大学医学部超音波センター		大阪市立総合医療センター		
	参加費		2,500円	32,000円		会員500円、非会員2,000円		
	参加者数		67名	17名		156名		
	主なプログラム		講義、ハンズオン	実技講習・講義、基礎講義		超音波ライブ「超音波検査スクリーニング検査のポイント」		
	研修会名		第14回超音波東北セミナー	超音波セミナー(地方会に併催)				
	日時		2019年3月9日	2018年9月2日				
	会場		仙都会館	栃木県総合文化センター				
参加費		1,000円	地方会に含まれる					
参加者数		80名	地方会に含まれる					
主なプログラム		教育講演、症例検討会	教育講演、一般演題、超音波ライブデモ					
研修会名			第7回千葉セミナー					
日時			2019年2月23日					
会場			ちば県民保健予防財団 講堂					
参加費			500円					
参加者数			110名					
主なプログラム			教育講演、シンポジウム					
研修会名			第24回初心者のための腹部超音波実技講習会					
日時			2019/2/9					
会場			関東中央病院講堂					
参加費			会員22,000円、非会員25,000円					
参加者数			25名					
主なプログラム			実技講習、実技講義、基礎講義					
保健師研修会	研修会名	平成30年度地域保健研修会	第15回保健衛生研修委員会研修会(地方会併催)	保健衛生研修会(地方会に併催)		第28回保健衛生研修会(地方会に併催)	福岡県保健衛生研修会(大塚保健師協会との併催)	
	日時	2019/2月16日	2018年7月6日	2018年9月2日		2018年8月4日	2019年1月26日	
	会場	北海道対がん協会会議室	良陵会館	栃木県総合文化センター		ピアザ淡海	レソラ天神ホール	
	参加費	非会員2,000円、会員無料	無	地方会に含まれる		医師5,000円、医師以外2,000円	無	
	参加者数	29名	45名	地方会に含まれる		26名	175名	
主なプログラム	講演「風しんに関する追加対策について」講演「新しい子宮頸がん検診の試み」グループワーク	教育講演「医師以外のメディカルスタッフも知っておくべきヒロリ菌感染症の知識～感染診断や除菌治療もふくめて～」、情報交換会	講義(がん検診受診率向上、精度管理、安全管理に関する)		講演「がん登録と市町村の行うがん検診精度の評価について」	腹部超音波マニュアルの活用法西澤子大腸腫瘍に関する経過観察のあり方 久部高司		
内視鏡研修会	研修会名			内視鏡研修委員会研修会(地方会に併催)				
	日時			2018年9月2日				
	会場			栃木県総合文化センター				
	参加費			地方会に含まれる				
	参加者数			地方会に含まれる				
	主なプログラム			講義、症例検討会				
研修会名			新潟市医師会胃がん検診講習会(共催)					
日時			2018/10月					
会場			新潟市					
参加費			共催					
参加者数			50名					
主なプログラム			内視鏡検診勉強会					
その他				調査研究事業(実態調査)、胃X線検診安全基準改訂版の作成				

2. 定款第5条2号（機関誌及び学術研究図書等の刊行）

- 1) 日本消化器がん検診学会雑誌の刊行（英文名：Journal of Gastrointestinal Cancer Screening）
発行部数：年間 36, 350 冊平均、隔月奇数月 号数：Vol. 56(3)号～Vol. 57(2)号 + supplement（大会抄録）

3. 定款第5条3号（消化器がん検診に関する実態調査及び研究の奨励、業績の表彰）

- 1) 全国の消化器がん検診に関する実態調査をオンラインで実施
- 2) 業績等の表彰（第58回総会時に授与式）
 - 有賀記念学会賞
松本 吏弘（自治医科大学附属さいたま医療センター消化器内科）
研究業績：X線検診、検診未受診と対比した胃内視鏡検診による死亡率減少効果
 - 学術奨励賞
井上 泉（東京海洋大学保健管理センター）
対象論文：メタボリック症候群関連因子の集積に伴う大腸腺腫リスク増強効果 55(6)
- 3) 各種附置研究会活動
 - 1) 大腸がん検診精度管理検討研究会
 - 2) 胃X線検診のための読影判定区分の運用・評価に関する研究会
 - 3) 胃がんリスク評価に関する研究会
 - 4) 対策型胃がん内視鏡検診研究会

4. 定款第5条4号（国際的な研究の奨励及び助成）

- 1) 国際研究費助成金：該当者なし
- 2) 国際学会参加支援：該当者なし

5. 定款第5条5号（消化器がん検診認定医（専門医）及び指導医・指導施設の認定並びに専門技師の認定）

- 1) 総合認定医
 - ・第1回総合認定医試験を実施した。
日時：2019年1月20日（日）13:00～15:45
場所：砂防会館（シェーンバッハ・サボー）
受験者数：377名
合格者数：361名
合格率：95.8%
 - ・新規総合認定医数：361名
- 2) 認定医制度（旧）
 - ・新規認定医・指導医・指導施設の審査を行った。
2018年度：認定医 37名、指導医 10名、指導施設 4施設
 - ・認定医・指導医・指導施設の更新を行った。
2018年度：認定更新 148名、指導医 37名、指導施設 14施設
- 3) 胃がん検診専門技師認定制度
 - ・新規認定審査を行った。
2018年度：認定技師 222名
 - ・認定技師の更新を行った。
2018年度：認定更新 429名

6. 定款第5条6号（消化器がん検診に関する社会への啓発活動）

消化器がん検診に対する国民の関心を高める目的で一般市民向けの公開講座を開催した。

- ・市民公開講座（総会時に開催）
テーマ「もう一度確認しよう早期発見・早期治療の大切さー消化器がんー」

日時：2018年6月9日（土）15:00～17:30

場所：新潟県民会館

内容：「食道がん、胃がん」、「大腸がん」、「肝臓がん」、「膵臓がん」

・公開講座（近畿支部地方会に開催）

テーマ「消化器がんを予防する、早く見つめて治す」

日時：2018年8月4日（土）14:00～16:10

場所：ピアザホール

内容：「滋賀県の行うがん対策」、「消化器がんを予防するには」、「消化器がんを早く見つめて治す」
「消化器がん検診の実際～検査方法とメリット・デメリット」、「がんになって見えたこと」

2018年度 正味財産増減計算書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	42,327,000	41,268,000	1,059,000
賛助会員受取会費	3,140,000	3,160,000	△ 20,000
一般会員受取会費	14,353,000	14,626,000	△ 273,000
支部通信費収益	3,862,000	3,849,000	13,000
受取会費計	63,682,000	62,903,000	779,000
事業収益			
機関誌収益	742,040	597,480	144,560
出版物頒布収益	1,037,854	1,222,073	△ 184,219
広告収益	939,440	971,280	△ 31,840
倫理審査手数料収益	80,000	0	80,000
認定手数料収益	15,105,000	2,175,000	12,930,000
認定研修受講料収益	1,165,000	1,210,000	△ 45,000
技師認定手数料収益	7,126,000	6,523,000	603,000
技師研修受講料収益	822,000	891,000	△ 69,000
事業収益計	27,017,334	13,589,833	13,427,501
学術集会収益			
参加費収益	11,887,000	12,893,000	△ 1,006,000
研修受講料収益	5,673,500	4,002,000	1,671,500
協賛金収益	4,459,250	5,812,000	△ 1,352,750
展示収益	4,513,600	4,934,400	△ 420,800
広告収益	5,173,600	4,158,800	1,014,800
受取寄付金	9,918,450	8,530,000	1,388,450
雑収益	187,017	174,036	12,981
学術集会収益計	41,812,417	40,504,236	1,308,181
雑収益			
雑収益	6,129	14,964	△ 8,835
雑収益計	6,129	14,964	△ 8,835
経常収益計	132,517,880	117,012,033	15,505,847
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	20,053,768	17,425,459	2,628,309
臨時雇賃金	628,600	1,106,582	△ 477,982
退職給付費用	870,000	476,080	393,920
法定福利費	2,373,277	1,464,575	908,702
福利厚生費	95,619	92,207	3,412
旅費交通費	5,169,831	5,563,315	△ 393,484
通信運搬費	2,663,182	2,401,031	262,151
広報費	2,247,712	2,045,523	202,189
会議費	7,073,794	5,570,647	1,503,147
発送費	3,058,516	3,272,231	△ 213,715
奨励費	55,685	658,545	△ 602,860
消耗品費	494,796	801,845	△ 307,049
修繕費	1,361,281	1,396,131	△ 34,850
印刷製本費	20,661,517	19,055,630	1,605,887
光熱水料費	178,193	165,311	12,882
新聞図書費	8,208	0	8,208
会場費	7,229,228	7,594,232	△ 365,004
運営費	8,743,338	5,861,146	2,882,192
賃借料	4,348,084	4,552,589	△ 204,505
諸謝金	6,554,004	5,163,004	1,391,000
記念品費	977,730	470,410	507,320
租税公課	205	207	△ 2
委託費	15,390,954	6,772,515	8,618,439
支払手数料	2,069,657	1,303,997	765,660
雑費	266,916	51,446	215,470
事業費計	112,574,095	93,264,658	19,309,437

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
管理費			
給料手当	1,955,496	3,331,314	△ 1,375,818
退職給付費用	122,500	64,020	58,480
法定福利費	124,290	76,500	47,790
福利厚生費	5,028	4,851	177
旅費交通費	2,446,245	2,736,325	△ 290,080
通信運搬費	1,417,886	1,396,478	21,408
会議費	119,519	178,387	△ 58,868
減価償却費	2,991,938	3,041,540	△ 49,602
消耗品費	150,369	223,807	△ 73,438
修繕費	73,801	101,559	△ 27,758
印刷製本費	881,293	1,086,129	△ 204,836
光熱水料費	9,373	8,699	674
会場費	155,430	169,636	△ 14,206
賃借料	227,818	222,669	5,149
租税公課	1,057,874	677,941	379,933
顧問料	1,127,520	1,127,520	0
支払手数料	167,569	149,984	17,585
雑費	114,740	189,302	△ 74,562
管理費計	13,148,689	14,786,661	△ 1,637,972
経常費用計	125,722,784	108,051,319	17,671,465
評価損益等調整前当期経常増減額	6,795,096	8,960,714	△ 2,165,618
当期経常増減額	6,795,096	8,960,714	△ 2,165,618
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損			
固定資産除却損	2	40,825	△ 40,823
固定資産売却損計	2	40,825	△ 40,823
経常外費用計	2	40,825	△ 40,823
当期経常外増減額	△ 2	△ 40,825	40,823
当期一般正味財産増減額	6,795,094	8,919,889	△ 2,124,795
一般正味財産期首残高	172,213,097	163,293,208	8,919,889
一般正味財産期末残高	179,008,191	172,213,097	6,795,094
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	179,008,191	172,213,097	6,795,094